耐久高等学校同窓会報

耐久

NO.25

湯浅小学校との合同避難訓練

総合防災学習　10月13日（火）

恒例行事となった総合防災学習。今回は初めての試みとして近隣の湯浅小学校全児童との合同避難訓練を実施した。湯浅小・耐久高両校の児童・生徒・関係者にとって貴重な体験となった。

編集者:耐久高等学校同窓会　　発行責任者：下野 憲英　　発行日：平成 22 年 2 月

平成二十一年度 同窓会総会開催

平成二十一年九月二十七日（日）、午後一時から湯浅町地域福祉センターにて、耐久高等学校同窓会本部及び有田耐久会総会が、約百余名の参加を得て盛大に開催された。

第一部として今年は趣向を凝らし、落語家・桂枝曾丸さんの楽しい和歌山弁落語と古典落語で会場は笑いと拍手に包まれた。その後「耐久四代記念」として廣田史郎（高十七期）様に記念品を贈呈し、謝辞をいただいた。

第二部は、三校歌斉唱のあと、下野憲英同窓会長（高十三期）、柏原政夫美有田耐久会会長（高十九期）、山﨑正互学校長（高二十期）があいさつされた。次に、西博義衆議院議員（高十九期）、阪本禎三関西耐久会名誉会長（旧中三五期）、中田實宏和歌山耐久会幹事長（高十七期）の方々が来賓として紹介された。

吉松敏隆氏（高十九期）が議長に選出され、初めに本部同窓会議事が進められ活動報告、会計・監査報告と進行した。その後、下野会長より創立百六十周年記念事業実行委員会の組織結成について（案）が提案され、承認された。

役員改選では満場一致で承認され、下野会長はじめ役員全員が留任した。

続いて有田耐久会議事が進められ、活動報告、会計・監査報告、活動計画案、会計予算案が承認された。

議長解任後、宮井慶三副会長（高七期）の閉会のあいさつにより総会は終了した。

さらに、総会終了後、懇親会が行われた。下野会長や来賓の方々のあいさつをいただいた。橋本佳己顧問（高四期）の乾杯発声の後、各テーブルで懐かしい思い出話の華が咲き、参会者一同、楽しく和やかなひとときを過ごした。

熱演の桂枝曾丸さん

「濱口梧陵と医学」講演会開催

校長 山﨑正互

10月10日（土）、有田医師会、耐久高校が共催して、稲むらの火の館・津波防災教育センターにおいて、標題の講演会を開催いたしました。同窓会にも後援、運営にご協力いただきました。講師として、『濱口梧陵と医学』を出版された千葉県匝瑳（そうさ）医師会 川村純一医師と湯浅町教育長 垣内貞先生をお招きしました。

濱口梧陵先生は、東京大学医学部の前身になる神田お玉ヶ池種痘所の興隆、銚子における安政のコレラ対策など、幕末から明治の近代医学の発展に貢献されました。また、有田地方においても紀州出身の吉村英徴医師を招聘し、西洋医学の出発点となった那耆病院を広村に創建されるなど、日本の近代医学の発展に多大なる貢献をされています。このことについてあまり世に知られていないことから、有田医師会会長の吉村研先生が発案され、今回の講演会を開催することになったものです。

川村純一先生からは主に関東地方における梧陵先生の医療活動について、また垣内貞先生からは有田地方における医療活動について、それぞれ御講話を賜わりました。

同窓会会員、耐久高校教員、語り部の会、広川町教育委員会、千葉県からも10余名など、多くのご出席をいただきました。出席された方々から、知らなかったことがたくさんあって、良かったとのご好評を頂きました。この講演会を機会に、今後銚子・匝瑳医師会、有田医師会、耐久高校の交流を続けていくことをお約束いたしました。

垣内　貞 先生

川村　純一 医師

支部連絡先

関西耐久会
会長 萩平　勲
〒540-0012 大阪市中央区谷町 1-3-17-301 号
ビジネス インテグレート㈱
Tel 06-6941-8282

和歌山耐久会
会長 田辺善彦
〒640-8144 和歌山四番丁 26 番地の 2
田辺法律事務所
Tel 073-431-2801

有田耐久会
会長 柏原政夫美
〒643-0004 有田郡湯浅町湯浅 1985
耐久高等学校・同窓会事務局
Tel 0737-62-4148

関東耐久会
会長 九鬼利郎
〒160-0022 東京都新宿区新宿 1-3-12-1002
株式会社 オフィス ココ　桜バンケット
Tel 03-3359-9520

同窓会のホームページ URL　http://www.taikyu-h.wakayama-c.ed.jp/obroom/obindex.htm

総合防災学習（合同避難訓練）
湯浅小学校の全児童が耐久高校へ避難！

後期始業式に続いて、恒例となった総合防災学習と避難訓練を10月13日（火）に実施しました。

午前中は全校生徒が体育館において、前広川町中央公民館長清水勲先生から「防災の原点を考える」と題する講演をしていただきました。濱口梧陵先生の業績と人としての偉大な生き方を中心に、学ぶことの意義や社会に貢献することの大切さ等を熱く語ってくださいました。先生が期待される「誇りの持てる学校」を目指していきたいと思います。

昼食後、地震と火災の発生を想定した避難訓練を行いました。今年は、初めての試みとして湯浅小学校との合同避難訓練を行い、湯浅小学校の全児童が津波を想定して耐久高校に避難してきました。本校の2年生が途中の安全確保や引率をお手伝いし、小学校の先生方の的確な指導もあり無事避難することができました。今回の取組を検証し、避難する際の交通安全の確保と、より迅速な避難を行うため高校生ができることを考えていく必要性を感じました。

午後、1年生は湯浅広川消防組合のみなさんの協力と指導により防災実技訓練を行いました。クラス別に①ロープワーク、②消火訓練、③起震車体験、④119番通報訓練、⑤担架での搬送、⑥煙体験の6つのプログラムに取り組み、体験の中で実際的な防災技術を学ぶことができました。

今回の学習・訓練の成果を活かし、地域社会に貢献できる高校生を育てることを目指し、体験活動を中心とした防災教育に今後とも学校を上げて取り組んでいきたい考えています。

清水勲先生講演「防災の原点を考える」

湯浅小学校児童との合同避難訓練

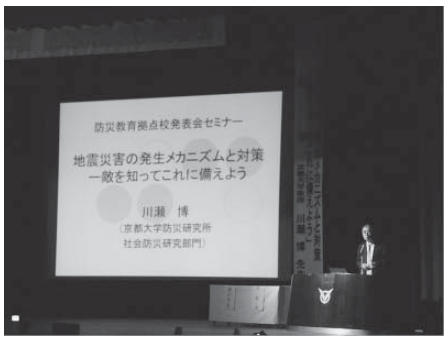
「防災教育拠点校実践発表会」開催

12月16日（水）午後、有田市民会館において、県内6校の生徒教員等550余名の参加を得、本年度の実践発表会を開催しました。学校長挨拶、来賓（県教委の喜多嶋・西畑両指導主事、箕島高校 横尾英治校長）紹介に続き、京都大学防災研究所教授川瀬博先生による「地震災害の発生メカニズムと対策－敵を知ってこれに備えよう」と題する基調講演があり、休憩を挟んで拠点校3校（新翔、田辺工業、耐久）の生徒がそれぞれの取組を発表しました。

川瀬先生のお話しは、過去の地震被害の例を挙げ、地震と災害発生のメカニズム、地震に対する備えについて、高度な専門的知見を踏まえた内容でとても有意義なものでした。

また、3校の発表はそれぞれの学校の取組内容、特色等がよくわかり、表現力の豊かさやプレゼンテーションスキルの高さを示す優れたもので、昨年に比べ格段に進歩していました。川瀬先生は講評の中で、「防災に関する和歌山県の高校生の取組の先進性。地域連携のすばらしさ。」について高い評価をいただき、「ノウハウを次世代に伝え蓄積することの大切さ」をご指摘いただきました。

参加各校の協力と川瀬先生、県教委の先生方の支援により、拠点校の生徒たちが、県内の高校生との交流をとおして、防災意識を高め、減災に関する情報の共有化を図り、地域における「共助」の担い手としての資質を高めるという当初の目的を果たすことができた発表会となりました。



京都大学防災研究所教授 川瀬博先生講演

本校生徒会執行部の取組発表

母校への、ご理解とご支援を！

学校支援活動

「がんばれ母校！先輩が先生」

同窓会の支援活動の一つ「頑張れ母校！先輩が先生」の講演会が、今回11月26日（木）本校体育館で開催されました。

講師にお迎えした本下素子さんは、現在NPOヒマラヤン・グリーンクラブの会員として現地で活躍中であり、「イスラム社会と国際交流―パキスタンでの活動から」と題してお話をしていただきました。パキスタンという国、イスラム社会とその文化、国際支援、活動を通じて見えてきたこと等について、実体験に基づいた、生徒達の共感を得るすばらしいお話でした。国際理解教育を柱の一つとして位置づけている本校の生徒にとって大変有意義であり、時宜を得た内容でもありました。

今回の講演を聴いた本校生徒の中から将来、国際支援の分野で活躍する人物が現れることを大いに期待したいと思います。

NPOとは?

「NPO(NonProfit Organization)」とは、ボランティア活動などの社会貢献活動を行う、営利を目的としない団体の総称です。

このうち「NPO法人」とは、特定非営利活動促進法(NPO法)に基づき法人格（※注）を取得した「特定非営利活動法人」の一般的な総称です。

法人格の有無を問わず、様々な分野（福祉、教育・文化、まちづくり、環境、国際協力など）で、社会の多様化したニーズに応える重要な役割を果たすことが期待されています。

NPOの中には法人格を持たず活動しているところも多数あります。しかし、法人格を持たないと、銀行口座の開設や事務所の賃借などを団体の名で行うことができないなどの不都合が生じることがあります。

（※注）法人格：個人以外で権利や義務の主体となり得るもの

講師プロフィール

本下 素子 氏

・湯浅町出身
・一九九〇年耐久高校卒業
・一九九五年帝塚山学院大学卒業
・一九九八年よりNGOヒマラヤン・グリーンクラブ、〇四年からNPOの会員として現地で活躍中

生徒感想記

3年　斯波　あゆみ

今回の講演で、私は「責任」ということについて考えさせられました。講演をして下さった本下さんの話からは、本下さんがどんな思いでボランティア活動を行い、どんな気持ちで現地の人たちと向き合っているかという強い決意が感じられました。その中でも、ボランティア活動を単なる自己満足で終わらせないためにはどうしたらよいか、という本下さん自身の考えがとても印象深かったです。

ボランティアだけに限らず、教育や色んな仕事において、やりきったという自分の達成感のみで終わってしまうことは多々あると思います。しかしそれでは本当に人のために動いたことにはなりません。本当に人の役に立つためにはどうしたらよいか改めて考えることはとても大切なことだと感じました。そして自分に出来ることを、どんな小さなことでも、見つけて続けて行けたら、人の役に立つということに少しでも近づけると思います。私も社会に出たときには、自分に出来ることを見つけていきたいです。

3年　中前　匡揮

今年は、「先輩の講演」で本下素子さんの話を聞きました。本下さんの第一印象は若くて小柄な女性だという感じでした。しかし、とても濃い内容の人生を送っている人でした。

パキスタンにボランティアで行っているという話でしたが、その交通費は自己負担で、普段はローソンでアルバイトをしているというのを聞いてびっくりしました。他国の人々のためにそこまで自分の人生を捧げることが出来る精神がすごいと思いました。僕も講演を聞いたりドキュメンタリーを見た直後は、いつか自分もボランティアに参加してみたいなあとは思いますが、実際は募金をするくらいで、異国に行くなんてことはできません。そのことに誇りを持って活動し、今日僕たちの前で講演している本下さんがとてもかっこいいと思いました。スライドで紹介された写真の中の皆さんは楽しそうで明るい人たちばかりでした。この笑顔のためだけに頑張っている本下さんが本当に素敵だと思いました。

同窓会活動報告

2009(H21)年

8.16 組織強化支援事業　高30期同窓会（民宿　松林）
26 四役員会（学校）
9. 6 関西耐久会総会（弁天町 H大阪ベイタワー）
……山﨑校長・下野会長・事務局
10 役員会（学校） 総会資料の審議
17 本部・有田耐久会合同会議（学校）
19 耐久高校文化祭への参画
（同窓会テント設置・飲み物サービス他）
27 平成21年度総会（湯浅町地域福祉センター）
10.10 講演会「濱口梧陵と医学」（広川町津波防災教育センター）
……校長・会長・事務局
10.13 総合防災学習（学校）副会長・会計
26 「頑張れ母校先輩が先生」本下素子氏講演会……会長・副会長・会計
11.10 有田耐久会図書購入費目録贈呈（学校）柏原会長
13 和歌山耐久会総会（和歌山市華月殿）会長・副会長・会計
19 創立160周年準備委員会（学校）会長・副会長
12.16 会報編集委員会（学校）
25 谷口維紹先生文化功労者顕彰記念講演会(有田川町地域交流センター「ALEC」)

2010(H22)年

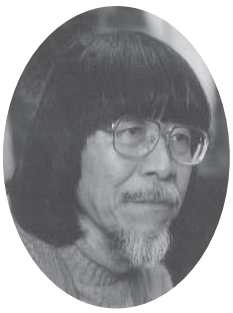
1.26 「耐久の精神とこれからの教育を考える」フォーラム（学校）
27 会報編集委員会（学校）
28 本部役員会・新年会

メールアドレス　taikyu-o@creamy.nax.ne.jp

特集

「彫刻人生」五十年を通して想うこと…

二紀会会員
県美術家協会 常任理事
中井由純



私が「美術」、中でも「彫刻」に関心を抱いた直接のきっかけは、母校旧制耐久中学校で私の父中井長二と同級生であった彫刻家・木下繁先生の存在でした。

私の高校生時代（昭和28～31年）は、大抵の先生方にニックネームを付けて呼んでいたものでした。美術教師の齋藤勇吉先生は「ゴンボ」書道の吉田先生は「ネコ」音楽の川口先生は「モーさん」英語の柴田先生は「チャボ」……といった具合でした。当時の先生方の多くは県外出身の方が多く、「ゴンボ」先生はズーズー弁で何を言っておられるのかよく分からなかったものです。授業以外でも放課後には柏村先生の「西田哲学」や栗原先生の「労働法」や「マルサスの人口論」といった特別講座など各先生方が大学で研究したり卒論を書かれたことなどを、私たちに講義してくれました。そんな自由で活発な雰囲気の中で、私は毎日のように放課後は美術部か新聞部、図書館で過ごし、読書会や文芸部の雑誌「なっちょ」の表紙やカットを描いたり、あげくに私設合唱団「オタマジャクシ」なるものをつくって昼休みに中庭で四部合唱の練習をし、「和歌山のうた声大会」等に参加し和歌山大学学芸学部の講堂で声を張り上げていたりと、指折り数えてみたら七つのクラブと関係していて青春を思うがままに過ごしていました。二年生の夏休みに蜜柑の摘果のアルバイトで得たお金で油絵の具一式を買い入れて、三年の夏休みに本格的に油彩画を描き始め、作品を初めて県展に出品・入選したことで自信を付けました。その翌年、金沢美術工芸大学彫刻専攻に入学、彫刻人生のスタートを切ることになったのです。

昭和35年、大学三回生の時、「二紀会第14回展」に初出品で初入選以来、毎年五十年にわたって出品を続け作品を発表してきました。初入選の十月、初めて木下繁先生のアトリエを訪問し、「彫刻とは！」のお話をお聞きし、泊めていただきました。また版画家の吉田政次先輩の工房を訪問したこともありました。大学卒業後は故郷に帰り、美術教師として三十七年間の教師生活のうち、じつに二十七年間にわたって母校「耐久」でお世話になりました。この間、美術科の授業で訴え続けてきたことは、単に結果を求めることだけでなく、そこにたどり着くための「過程でどれだけ努力し、苦闘するか」ということです。このことを大切にすることが生徒達にとって、未来の生き方を見つけ出す力になるであろうし、一人の人間としての生き方を見つけ出す原点であると考えていたからです。それは私自身の生き方として、彫刻家として作品を造り続ける姿を生徒達に見せることだとも考えていました。

さて、思い起こせば私にとってこの五十年間は、高校生時代にお世話になった先生方や諸先輩方から多くの影響を受けながらの彫刻家人生だったかもしれません。「物をつくる」「創造する」とは、現代という社会の中で生き、苦悩し苦闘しながら新たな価値を見い出し、そこに挑戦することで大きな意味を持つものであると思います。「作家」とは「現代社会が持つ矛盾」や「過去の歴史」の中で生きる者であると考えるからです。昭和初期「蟹工船」を書いた小林多喜二の小説を高校時代に読んで大きな衝撃を受け、「権力」や「権威」をたのんで抑圧する者に対し、抵抗して闘う――そんな人生を歩みたいと考えるようになりました。そのような生き方は「自己犠牲」と「自己破滅」をも覚悟することでもあります。だからこそ私の制作テーマは「RESIST」＝「自虐者」であり、それを彫刻として表現しようとこの五十年間悪戦苦闘してきたといえましょう。

自虐者　'09.RESIST.C

私の作品が日本だけでなく、海外でどう受けとめられるかにも関心があり、フランスで五回、中国で二回、イタリアで三回、スペイン、オーストリア、ギリシア、イギリス、アメリカ、タイで各一回ずつ、計十六回の国際展で作品を発表してきました。イタリア、フィレンツェ「美の奇蹟展」でのグランプリ大賞、仏シャンティ国際展でのグランプリ、アルテ大賞、カンヌ国際展での観衆投票で多くの支持を得てのカンヌ国際大賞など受賞を重ねました。最近では関西二紀展で、'09年度最優秀作家賞、'09年63回二紀展で会員賞、'10年1月銀座松坂屋で63回二紀展受賞作家展、3月には二紀会春季展、63回日本アンデパンダン展と作品づくりに追われています。また県内では昨年3月まで県美術家協会会長を、県展審査員を40年間つとめ、和歌山の美術文化の発展に微力をそそいできたところです。

今振り返ってみると、この50年間は「高校生時代」の貴重な体験をバックボーンに、「美術教師」と「彫刻家」との二足のわらじをはいて全力で走ってきたように思えてなりません。

プロフィール
- 湯浅町出身
- 昭和30年　耐久高校卒業（高8期）
- 昭和36年　金沢美術工芸大学彫刻科卒業
- 昭和36年～平成10年
  湯浅中学・南部・耐久・日高・有田中央・耐久各高校教諭
- 現・日本美術家連盟会員
  日本美術会会員・委員

貸し出し用校章小旗と名札を用意しています。同期会の集いに、ご利用下さい。（事務局）

谷口維紹氏（高18期）に文化功労者顕彰

東京大学大学院教授。生理活性物質サイトカインを分子レベルでとらえる手法を世界に先駆けて確立、88年朝日賞、00年日本学士院賞他多くの賞を受けられている。

谷口先生からの書状

拝啓、秋冷の候、下野様にはご清祥のことと存じ上げます。

この度は、私の文化功労者顕彰に際し、お祝いを頂戴致しまして誠に有り難うございました。心より感謝申し上げます。去る11月4日には顕彰式に出席した後宮中にお茶会に招かれ、天皇・皇后両陛下にご祝辞を賜りました。

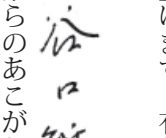
今回の顕彰は身に余る栄誉と存じておりますが、これも母校耐久高校で極めて豊かな素晴らしい教育を受けられたことが大きく影響していると確信致しておりますとともに深く感謝しております。同級生の多くの皆様とは今でも親しい交友関係を続けておりますが、多くの同窓生の方々からお祝いの言葉をいただきました。

東大医学部に参りましてからもう15年、ひたすら研究と教育に邁進してきたつもりですし、今後とも努力して参りたいと存じております。また、母校耐久のために微力ながら出来るだけのお役に立てればと希望致しております。

耐久高等学校と同窓会の益々のご発展を心よりお祈り申し上げております。

時節柄、ご自愛くださいますよう、今後とも何とぞよろしくお願い申し上げます。有り難うございました。

平成21年11月10日　敬具



耐久は私の幼少の頃からのあこがれでした。

組織強化支援活動

昭和53年卒 同窓会「紳士淑女・猛者女傑」

高30期

八月十六日（日）、民宿「松林」において三尾精二先生、原秀明先生の御出席を賜り昭和53年卒、第30期の同窓会が総勢90名で開催されました。今年は50歳を迎える節目の年とのことで母校の同窓会から支援をして頂き、さらに同窓会事務局担当の白井先生、清水先生のお力添えを賜り盛大に開催することができました。

冒頭に今回の同窓会開催の経緯と当時の恩師の御存命についての報告を行いました。当時の担任、副担任の先生方18名中6名の恩師が「千の風になって大きな空を吹きわたっている」との報告では場内一同驚きと感嘆の声が上がりました。その後、三尾先生の御挨拶を頂戴し、続いて原先生の乾杯の御発声を合図に懇談開始の運びと相成りました。

当時からして31年間の年月は50歳を迎えた紳士、淑女をたいてい変貌させているもので、光源氏の「さかさまに行かぬ年月よ」を誰もが噛み締めつつ、「えっ、あなたがあの○○さん、髪の毛はいずこへ置いてきたの。」とか「あなたは僕達のマドンナだったのになあ。」や「今だから話せる話」も飛び出し、当時の思い出話に花が咲き、しばし青春時代にフィードバックしていました。

そして盛り上がったまま二次会三次会へと繰り出しました。一部の猛者、女傑は時の過ぎ去るのも忘れ、日付が変わってもなおおしゃべりを楽しみ帰ろうとしなかったそうです。50歳になっても相変わらずよく遊ぶ仲間達で、同じ話題で昔を懐かしむことができる同期の輩は良いものだなと改めて感じました。また多くの人から次の開催も早いうちにお願いします、と声をかけて頂きましたが次は5年後ぐらいかなと心に秘めつつ愛想笑いをしておきました。

このように無事開催することができ、皆さんが同窓会を楽しんで喜んで下さいますこと、幹事冥利につきます。ただ、幹事泣かせは住所がわからない人達です。住所等が変更になった場合は各クラスの幹事または母校の同窓会事務局まで連絡をお願いします。

また次の機会に元気でお会いできることを楽しみにしています。

弓場　守

同窓会への問いかけ・ご提言は、何なりとお申し出下さい。（事務局）

和歌山耐久会

平成21年度 和歌山耐久会総会

（11月13日 於華月殿）

平成21年11月13日（金）午後6時30分より、和歌山市屋形町華月殿にて平成21年度・和歌山耐久会総会が開催されました。

和歌山耐久会は、和歌山市・海草郡・旧那賀郡・伊都郡、在住もしくは通勤の耐久高校同窓会という位置づけで、3年に1回の開催規定により、昨年11月開催の運びとなったものです。

本部事務局のご協力のもと、約3千人の校友に案内の葉書を送付させて頂きました。参加者総勢、100名弱のささやかな総会ではありましたが、耐久高校マンドリン部のマンドリン演奏をかわきりに、終始和やかで温かい雰囲気の総会でありました。

尚、総会では通信費確保のため、有田耐久会規約に倣い、年2000円の会費制となり、役員の留任、幹事会の充実を決議しました。

懇親会では、特にアトラクションや講演等の企画を用意しませんでしたが、「生ける神、濱口梧陵」のDVD上映は好評でした。来賓として遠方よりご参加頂きました下野同窓会会長、萩平関西耐久会会長、柏原有田耐久会会長には心より厚く御礼申し上げます。

年代別に記念写真を撮る

益々の活動の盛り上がりを見せている、関東耐久会・関西耐久会・有田耐久会の活動に励まされ、今後とも新幹事会のメンバーのご協力を仰ぎながら、頑張っていく所存です。

和歌山耐久会幹事長
中田　實宏

組織強化支援活動

初めての同窓会　卒業以来４年目

高58期

2010年1月3日、ホテルグランヴィア和歌山にて第58期卒業生（平成18年3月卒業）の同窓会を開催しました。当日は同窓生が180名ほど集まってくれ、恩師の先生方も3名の参加をいただきました。

今回、ホテルでの催しとあって、スーツでフォーマルにきまった男子、ドレスアップしてキラキラと輝かしい女子、会場内はとても華やかでした。

最初に幹事長である上続さんが挨拶をし、続いて山下君の乾杯の発声で、前にある大きなスクリーンに花火が映され、気持ちが高まる中、同窓会が始まりました。

座席はクラス別で、乾杯の後はバイキング形式の手のこんだ料理を皆必死になってお皿に盛り、食事をしたり、4年ぶりの再会を楽しんだりしました。大好きな仲間との食事は、高校時代の昼食時の懐かしさが戻って、とてもおいしくいただけました。この時会場の中は皆の笑顔があちこちでみられ、とても和やかな様子でした。

しばらくしてから、同窓会のメインイベントであるビンゴゲームをしました。液晶テレビや任天堂DSなど豪華賞品や目玉商品以外でも個性あふれる商品を揃え、みんなをわくわくさせました。再びスクリーンを用いて番号をスロットさせ、ビンゴ係りが面白おかしい絶妙なタイミングでストップをかけました。「我こそは！」と皆ビンゴになるよう祈りながら数字を見つめ、数字が発表される度、歓声がわいていました。

その後は引き続いて食事をしたり、席を移動して友達や先生方と近況報告やたわいもない会話をしたり、写真を撮り合ったりしました。

最後に、3名の先生方をステージ上に招き、感謝の気持ちを込めて一人ずつ花束をわたしました。そして先生方からも心温まるお言葉をいただき、幹事長高木君の終わりの挨拶で2時間余りに及んだ同窓会を閉会しました。

今回の同窓会を開催するにあたり、幹事メンバーは昨年の夏から準備を始めました。仕事をしている、大学に行っているなど環境の違いにより、幹事の間でも連絡をとるのが難しく大変なこともありましたが、耐久高校同窓会事務局をされている先生方に非常にお世話になり、無事に開催することができました。当日は同窓生の微笑ましい顔を見て成功に終わることができたと確信し、よかったという思いでいっぱいです。

本当に今回の同窓会に関わっていただいた全ての人に感謝しています。

川端　友理香

最近まぎらわしい呼びかけの電話や郵便が多くなった様です。十分ご注意下さい。

関西耐久会

平成21年度 関西耐久会のご報告

平成21年度関西耐久会総会が9月6日（日）、ホテル大阪ベイタワー（大阪・弁天町）の4階ベイタワーホールで開催され、149名が参加して盛会となりました。

講演会では、講師の柏典夫氏（高12期、日本学術会議会員、紫綬褒章受章）がノーベル賞に匹敵する発明といわれるプラスチックの開発過程を、身近な家庭用品や車部品を例に挙げて説明され、大変よく分かる、また楽しい講演でした。

合唱では、萩原温子氏（高10期）と菊山ひろみ氏（高13期）の歌唱指導で、50年前に作られた有田のわらべ歌「いこらいこらよ」を、故郷を想いながらみんなで歌いました。

ホテル大阪ベイタワー

関西耐久会会長　萩平勲氏は「他の和歌山県立高校が大阪ではやっていない、この盛大な総会を耐久のみんなが集まる新しい伝統にしていきたい。来年も、〝ここに来れば皆に会える〟をコンセプトに、200人の総会を目指したい」と述べました。

お待ちかねの「紀州の味覚」では、馴れ寿司やシラスの釜揚げ、金山寺味噌、焼餅などが登場し、大好評でした。

懇親会では、卒業期別に演壇に上がり、記念写真を撮りました。「〝懐かしい再会、思わぬ出会い。そこに行けば皆に会える〟をコンセプトに、来年は9月5日（日）、同じ場所、同じ時間に、もっと多くの同窓生を誘って会いましょう」と決意してお開きとなりました。

関西耐久会　役員・幹事のみなさん

旧中38期 懐かしの「スタンド」で

旧中三十八期の二十回同級会が秋晴れの十月四日に湯浅の「シーサイド松宮」で開催されました。

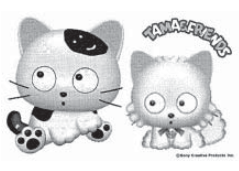
出席者十六名で、昨年、今年鬼籍に入った四名を加えて五十一名の物故者の在りし日の姿、行事を思い起こしながら楽しい一時を過ごしました。特に遠泳やマラソン大会、松原での軍事訓練で渡川でびしょ濡れになったこと、播磨造船所での勤労奉仕のきつかった仕事……。

なつかしい松原を背景に軍装で銃をかかえての匍匐前進したグランド（埋め立てていたが）を眺めつつ「スタンド」で記念撮影（学校の好意で許され）そして「耐久学舎」を眺めて若き日々を思い、南広海岸を眺望してのバス行を終え、宴会では食前訓？一つには「耒耜の易からざるを思う」二つには「節度の適否を思う」三つには「徒食の罪なきやを思う」で木造の教室がなつかしく、今後も老骨に鞭うち元気で続けたいという熱意で校歌「たたふる波も那耆の海――」を歌い散会をいたしました。

平松　厚徳

保険コンサルタント/ファイナンシャルプランナー
和歌山FP総研
代表 川島忠弘（高37期）
〒640-8331 和歌山市美園町5-6-12
TEL 073-424-6611 FAX 020-4624-8330
E-mail:tada315@ybb.ne.jp
HP:http://www.geocities.jp/wfp_soken/

田辺法律事務所
弁護士 田辺善彦（高14期）
〒640-8144 和歌山市四番丁26番地の2
TEL 073−431−2801
FAX 073−433−2299



もっと身近に、もっと気軽に…
きのくに信用金庫
湯浅中央支店・湯浅支店・広川支店
統括支店長
谷岡義則（高29期）

株式会社 柏原運送
柏原政夫美（高19期）
〒643-0032 有田郡有田川町天満60－1
TEL（0737）52－5235
FAX（0737）52－5630

同窓会のホームページ URL　http://www.taikyu-h.wakayama-c.ed.jp/obroom/obindex.htm

関東耐久会

第六回 関東耐久会バス旅行

秋本番の10月末恒例の関東地区耐久会のバス旅行が開催されました。行く先は千葉方面で、当初は銚子での地曳網を考えていましたが、参加者が22名と30名に満たなかったため、房総観光に切り替えました。

東京駅を8：30に出発し、東京湾アクアラインを経由して、道の駅「ローズマリー公園」に向かいました。ここは様々なハーブや四季の花々が植栽された異国情緒あふれる公園です。この中に「シェイクスピア・カントリー・パーク」があり、シェイクスピアが晩年過ごした「ニュープレイス」を世界で初めて復元し、他に生家などが建てられ、シェイクスピアの香りを堪能できる「カントリー」でした。

シェイクスピアの生家の前で、記念撮影をしたり、見事に左右対称の幾何学的な模様を描いたヨーロッパの庭園を鑑賞し、それぞれハーブグッズなどを買い求め、南房総の海岸に面した「ファミリーオ館山」に向かいました。ここはJR系の滞在型ホテルで、海の幸をメーンにした昼食を頂きました。前郁夫副会長の特別の計らいで海鮮三昧の料理を堪能しました。天気次第では天城山系、雄大な富士山も眺望できるという素晴らしいロケーションでした。

最後の行程「養老渓谷」に向かう途中で、海産物土産店にも立ち寄り、盛り沢山なバス旅行でした。行楽シーズンでバス移動に思ったより時間がかかり、帰路で休憩予定に入れていた「海ほたる」にはトイレ休憩のみということになり少し残念でした。

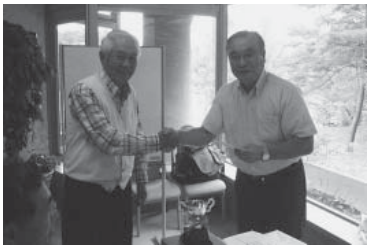
九鬼　利郎

関東耐久会ゴルフ大会

関東耐久会のゴルフ大会も回を重ねること6回目となりました。今回も一泊二日のゴルフ大会で、前日はクリオコート（10期生の南方由子様経営）に宿泊させていただき、前夜祭から大いに盛り上がりました。

この大会、雨に祟られることが多く、毎回「雨男」は誰かと詮議されることが多々ありましたが、今回は天候に恵まれ、スコアの良し悪しを天候のせいにはできない条件下でした。コースは名門「パルコール嬬恋ゴルフクラブ」において、11名の参加者で行われました。競技方法は新ペリア方式を採用した結果、優勝者は昨年に続き、大野博司副会長連覇ということになり、めでたく幕を閉じました。

九鬼　利郎



その他関東耐久会の行事

2009年12月11日（金）
丸の内メトロポリタンホテル「天空」にて幹部会を実施。

2010年1月29日（金）
ホテルメトロポリタン（池袋）にて評議会実施。

－平成22年度活動計画について他－

阪和工業株式会社
社長　西本英幸
有田郡湯浅町吉川195－7
TEL（0737）63－6251

母校 2年後 創立160周年
伝統の火を燃やし続け 更なる発展を
下野憲英（高13期）

株式会社 和通
代表取締役　中田實宏（高17期）
〒640-8341 和歌山市黒田279-4
TEL 073-475-0310
FAX 073-475-0320

小畑産業株式会社
代表取締役　小畑英三（高18期）
〒640-8033　和歌山市本町3丁目18番地
TEL 073-423-4148 FAX 073-431-4505
ei-kobata@kbts.jp

◆ 地元、有田耐久会にご入会を！（お問い合わせは事務局 0737-62-4148）

高4期

秋の丹波路へ

四期同窓会十月四・五両日

インフルエンザの影響で見合わせていた同窓会、有馬温泉泊、丹波篠山・神戸周辺を巡るバスの旅。（大阪組ホスト）

爽やかな秋空の下、バスは丹波路へ。篠山盆地の中心地、篠山藩の城下町として繁栄した篠山町に着く。

ボランティアの女性の案内で、市立歴史美術館で丹波篠山築城四百年記念特別展を拝観。特産の栗・本日解禁の黒豆枝豆・松茸等を並べる店や地酒の店が並ぶ通りを経て城址へ。天守閣はないが石垣や大書院も見事なもの。散策後有馬へ。

「有馬御苑―金泉の湯」でゆったりと疲れを癒す。

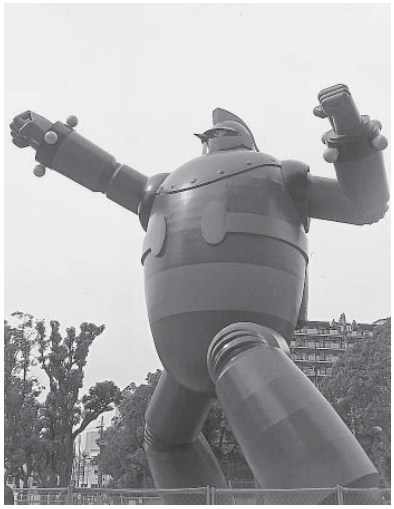
六時からは宴。まず物故者に黙祷。開会、会長挨拶、乾杯、ご馳走を頂きながらの歓談、余興、次々とカラオケも。突然アラビア風の衣装を身に着けた「自称アラビアの王子」が登場、「月の砂漠」を歌い上げる。座は更に盛り上がる。会場いっぱいに響き渡る校歌の大合唱で幕。部屋でも夜更けまで話は尽きぬ。

翌日は曇、最近話題の、神戸市長田区の公園に建つ「鉄人28号」の巨像を見る。震災からの復興と発展を願ってとのこと。

次いで「神戸花鳥園」へ。美しい花々や珍しい鳥たちに、熱帯の自然を満喫する。

南京町では、円卓を囲み美味しい広東料理の昼食。

最後の訪問先「手塚治虫記念館」では只々感服。



復興と発展を願っての鉄人 28 号

総勢三十名。共に眺め共に食し共に語る至福の時を過ごした二日間。

来年は湯浅組が担当、また、「連れもていこらァ……」

（宮下　稔）

高6期

和歌山で開催の高校6期同窓会

秋晴れの十月十五日に和歌山のホテルアバローム紀の国で今年の6期同窓会が開催され、遠く東京からの参加者も交えて四十数人が集まり一年振りにお互いの元気を確かめ合いました。

私たちはもうすぐ「後期高齢者」というおかしな名の年代に組み込まれることになりますが、われわれ6期生は喜寿・米寿・白寿と呼ばれるまで頑張ろうとお互いを励ましあって、来年の再会を約して家路につきました。

永広　格

高52期

卒業から10年目の集い

平成22年1月2日（土）有田市 鮎茶屋にて平成12年度卒業生同窓会を開催しました。

卒業生71名、先生方5名の参加でした。今回、同窓会には御出席されませんでしたが、田中清子先生より心温まるお手紙とカンパを頂きました。卒業から10年、同窓会は2回目で6年ぶりですが、懐かしい顔が揃いました。

まずは山中先生よりご挨拶を頂き、白井先生の乾杯で宴は始まりました。歓談の中、ビンゴゲームを行い、一位のＷｉｉが中野春香さんに当たりました。

その後先生方の近況を一人一人ご報告していただきました。卒業生からは卒業生同士で2月にご結婚される1組のカップルの婚約報告を金屏風の前で発表していただきました。

3時間があっと言う間にすぎ最後は当時の生徒会長桐谷君の挨拶で締めくくられました。

幹事　鳥淵厚子
戸田冴香
宮芝　翌
宮崎美枝

「同窓会館建設」夢の実現にご理解とご協力を！

有田耐久会

有田耐久会より図書館へ図書購入費目録の贈呈

第2回有田耐久会（第30回耐久会）ゴルフコンペ開催

平成21年10月21日（水）、有田東急ゴルフクラブに於いて、8組31名の方々に参加していただき恒例のゴルフコンペを開催いたしました。今回はグロス82で、田尻満男さんが優勝されました。ちなみに、82はベストグロスで、岩崎文彦さんも同スコアで2位になりました。

同窓生という絆のせいか、どの組も和気あいあいとした雰囲気で楽しい一日を過ごされたようです。

次回は、3月24日（水）を予定していますので、皆さんお誘い合わせの上、ふるって御参加下さいますようお願いいたします。

◆申込先　柏原 政夫美
℡〇七三七ー五二ー三四二六

高35期

昭和57年度卒業生27年目の同窓会

2010年1月3日。卒業後27年を経て初めての学年同窓会が、有田市の橘家で行われました。

180名の参加者が集い、池下勝也君の名司会でスタート。幹事長（的場）の挨拶に続いて、恩師の先生方を代表して垣内惇三先生にご挨拶していただきました。（御年82歳だそうですが、矍鑠としておられ、びっくりです。）そして、古谷仁和先生のパワフルな乾杯の音頭を機に会場は堰を切ったダム？のようにワイワイガヤガヤの大宴会となりました。

二十数年の月日で、髪の毛は風化、体はメタボな同級生も大勢いましたが、一度話し始めれば、気持ちは高校生に逆戻り。懐かしい思い出話に花が咲きました。

また、思いのほか好評だったのが、お年玉付きビンゴゲームでした。宮井将行君のユーモラスな進行も手伝って終始なごやかな雰囲気で楽しい時間を過ごすことが出来ました。中には、夫婦でお年玉を2個ゲットする強者もいました。

会の終わりに、我らが母校耐久高校校歌を大合唱し、5年後、50歳の同窓会での再会を約束して、1次会がお開きとなりました。

その後も、半数を超える同級生たちが残り、場所を変えての2次会が行われました。話し足りない、飲み足りない、名残を惜しむ仲間たち。そして、3次会、4次会へ。時間の経つのも忘れて、長いけれども短い1日が終了しました。

最後になりましたが、今回の開催にあたり同窓会事務局の方々には大変お世話になりました。本当にありがとうございました。

幹事代表　的場　久

第4回　ゆあさ行灯アート展
日　時　4月14日(水)～18日(日)　18:30～21:00
場　所　湯浅町重要伝統的建造物群保存地区
問い合わせ先　グリーンソサエティー
三ツ村 0737－63－0401

東表具店
東　正一
（高19期）
湯浅町湯浅1146
TEL（0737）62－3636

塗装のことなら
中内塗装
中内祐也
（高45期）
湯浅町山田10-13 TEL 63-3769

頑張れ母校・負けるな耐久
橋本印刷所
橋本佳己（高4期）

郵便振替口座の開設について（口座番号）00900-5-298293（口座名称）和歌山県立耐久高等学校同窓会（加入者払込局）湯浅郵便局

部活OB・OGたちの **絆**

茶道部の巻

本校の茶道部は本館4階の作法室で活動しているのであまり目立ちませんが、週3回、お手前の稽古をしています。そのうち1回は箕島の表千家舛田節子先生の指導を受けています。作法室は数年前に改造され、畳には本格的に「炉」が切られていて、11月になると「炉」を開いての稽古が始まります。

生徒達はお手前の一つ一つの動作を丁寧に教えられます。動作の順序であるとか、ものの位置とか、細かい作法はそれぞれに意味があって理にかなったものになっています。どうすれば身のこなしが自然にきれいに見えるか、客をもてなす心に背いていないか、そういった細かい気配りが計算され尽くしているように思われます。

部員は3年生3名、2年生6名、1年生2名です。大きな行事は何といっても文化祭ですが、まだ暑さの残る9月なので、生徒達はゆかたを着て雰囲気作りをします。今年度は150名くらいのお客さんで大忙しでした。その他の行事では、他校や地域の文化祭のお茶席に参加したりもします。また、ニュージーランドからの留学生を招待したところ、とても喜んで「おいしい」と言ってくれました。

数年前から、茶道部の研修旅行として例年京都に行くのを生徒達は楽しみにしています。今年度は12月に宇治茶で歴史の古い宇治・上林記念館や資料館を見学し、また哲学の道にある京都茶室棟へ行って本場のお抹茶を味わってきました。

このように、日本の伝統文化である茶の湯の世界を少しでも若い人たちに受け継いでいけるよう、少人数のクラブではありますが、途絶えることなく活動を続けられたらと思っています。

顧問　三木　明美

窓

同窓歌壇

・病室にパステル調の春の花
　贈りし人の心根にくし
　　齋藤　春太郎（旧中40期）

・まだ更に言ふことあるらむ
　十余年ぶりなる友の話し止まらず
　　長谷　康富（旧職員）

・七十を超えて集いし同窓生
　人とは問わずあの子だあれと
　　齋藤　雅子（高8期）

・老犬の逝きて五ケ月過ぎし朝
　雪しんしんと犬舎跡に消ゆ
　　中内　京子（高15期）

Echo!

◎（垣内貞、藪添泰弘、玉井済夫）三名の先生をパネリストとして1月26日（火）に開催された「耐久の精神とこれからの教育を考える」フォーラム。本校教育理念である校訓「真健美」、「校歌」に込められた耐久精神――等を中心に熱く語り合われた。あらためて耐久の伝統と未来について再認識した次第である。

この様な企画が今後も引き継がれ、母校・耐久のますますの発展に寄与されることを心より願う。

◎一・一七あれから十五年。今年神戸での慰霊式典には、皇太子・皇太子妃両殿下がお揃いで献花されました。被災した孫を引き取り湯浅小学校でお世話になった日々を回想し一日中関連放映された番組に釘づけになったものでした。今また悪魔がハイチで……。（橋本）

◆ご献金に感謝

・旧中38期同窓会様
・旧中42期同窓会様
・有田高等女学校同窓会様
・高校15期同窓会様
・廣田史郎様（高17期）
・橋本和明様（高28期）
・郵便振替による、ご協力で支援下さった多くの皆様にも御礼を申し上げます。

『編集後記』

第25号ができました。

下野会長をはじめ全役員揃って留任していただけることが、本部の定期総会で決まりました。また、2年後に迫った創立160周年に向けて、記念事業の準備組織を作ることも決議されました。今回は有田耐久会総会も同時に行われ盛会でした。なお、関東、関西、和歌山各支部の活動の様子も誌面でお察しいただけると思います。

この『会報』も毎年2回滞ることなく発刊してきました。これも原稿の執筆、寄付や協賛広告など物心両面にわたる皆様のご支援のたまものと感謝申し上げます。毎号、同窓生の方々の様々な分野での活躍を見ていただけることがうれしいです。よりよい会報作りのため、ご意見やアイデアなどお寄せください。

熊野、伊勢でも感動を露わにしたアンドレ・マルローの、「二十一世紀はふたたび精神的時代となるであろう。さもなくば二十一世紀は存在しないであろう。」という意味の発言は広く知られていますが、二十一世紀も十年代に入りました。

卒業される生徒の皆さん。二十一世紀の中枢となる君たちの門出を祝福し、将来の活躍を期待します。耐久同窓会の存在も忘れないでくださいよ。

桜の季節もすぐそこです。

さまざまの事おもひ出す桜哉

芭蕉